

ため池を整備し、地域の安全を確保します

ため池の整備

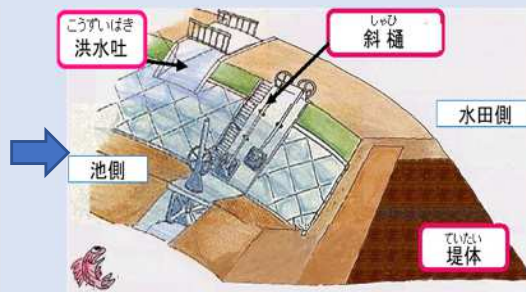
豪雨や地震を原因とするため池の決壊によって、地域に浸水被害が起こらないように**ため池の補修を実施**しています。

ため池ってなに？

ため池とは、降水量が少なく、流域の大きな河川に恵まれない地域などで、**農業用水を確保するために水を貯え取水ができるよう、人工的に造成された池のこと**です。
堤体と取水設備等で構成されており、農業用水を確保できるような構造となっています。



ため池の構造



洪水吐（こうずいばき）

大雨時に池の水が堤体を越えないように、池の水を安全に流すための施設です。

斜樋（しゃひ）

池の水を取り入れ、用水路に送るための施設です。通常何段かに分かれており、水位に応じて水面付近の温かい水を取水できる構造となっています。

ため池整備事例

大沼（大）地区（吉見町）

ため池の耐震化対策のため、堤体補強を実施

整備前



整備後



弁天池地区（秩父市）

緊急放流機能の確保のため、斜樋、底樋の改修を実施

整備前



整備後

